



ほぐ
ねだ

その2

スピンナップ!
勇者魂



スイーツ
ガールズ

- ほしのふうた 「熱帯夜」 … 5 ~ 18
- おずのまほう … 19
- 栗山美雨 … 20
- 鈴木音吉 「1 / 3 NIGHT #2」 … 21 ~ 30
- 青野六剛 「おかげバタカ萌え萌え♪」 … 31 ~ 34
- 觀楽唐々 「淫ら番外編 ブロッサム大受難の日々」 … 35 ~ 42
- 伊豆美尋 4号 「バイオハザードZ コード:エロニカ」 … 43 ~ 52
- TOWER … 53

- コメント … 54 ~ 56
- 編集後記 … 57
- おくづけ … 58
- All Edite . . . By DUN!

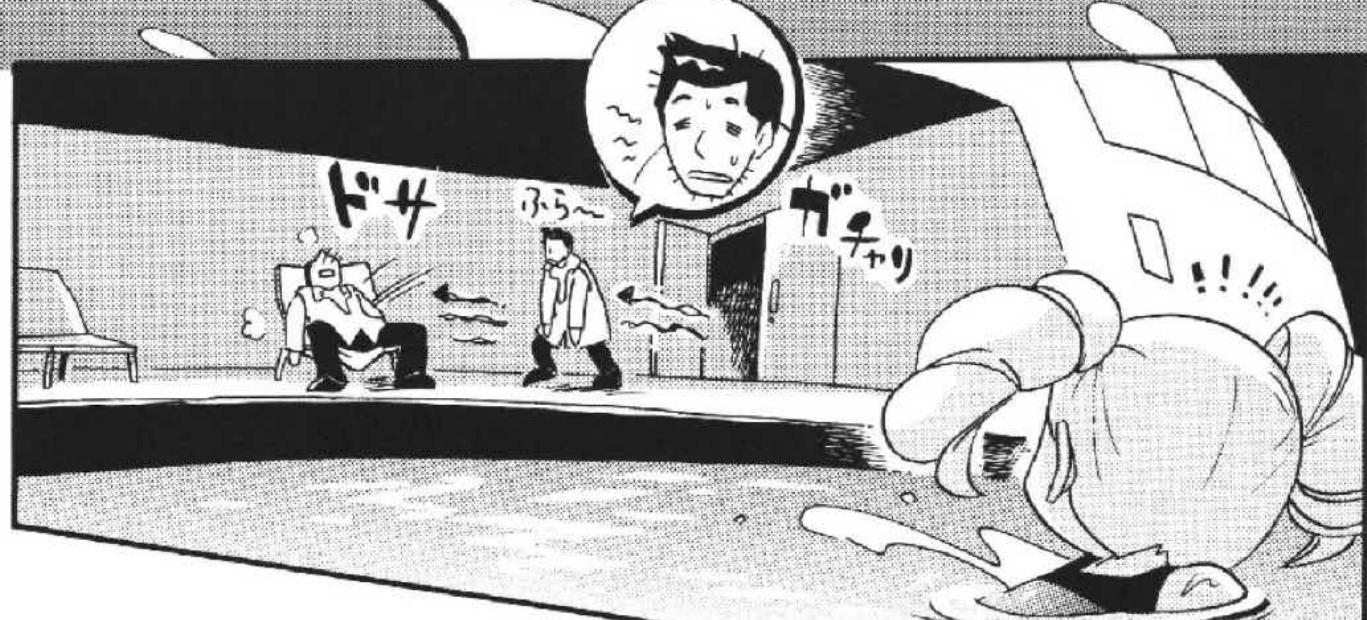
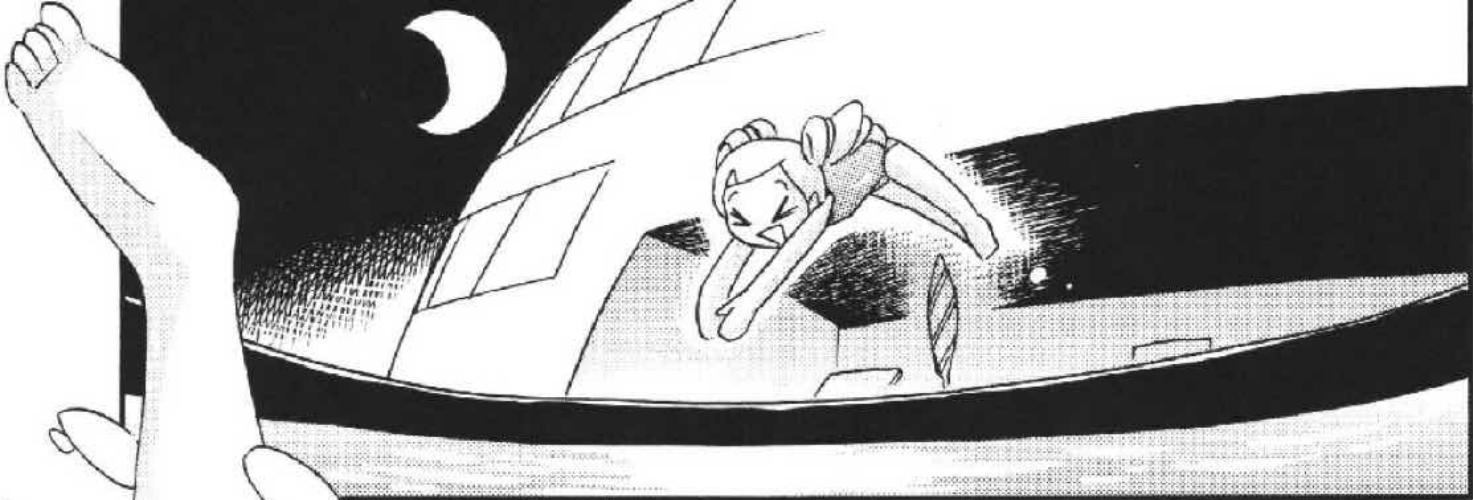


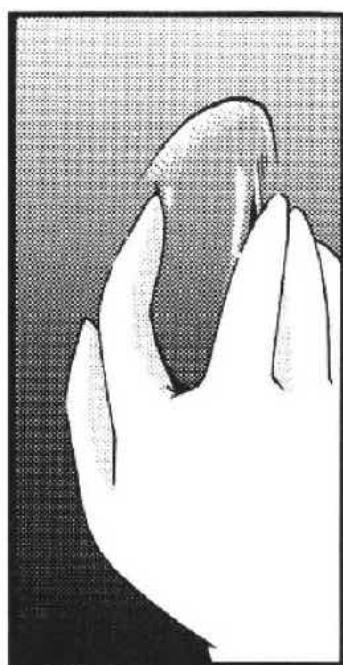
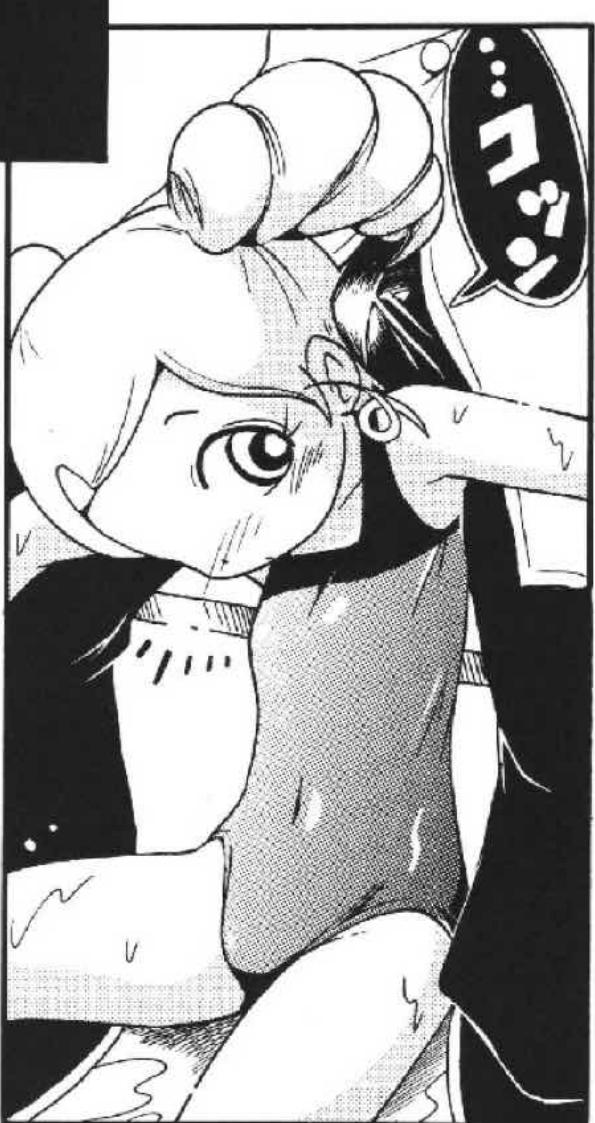
熱帶夜



ほんぐうた











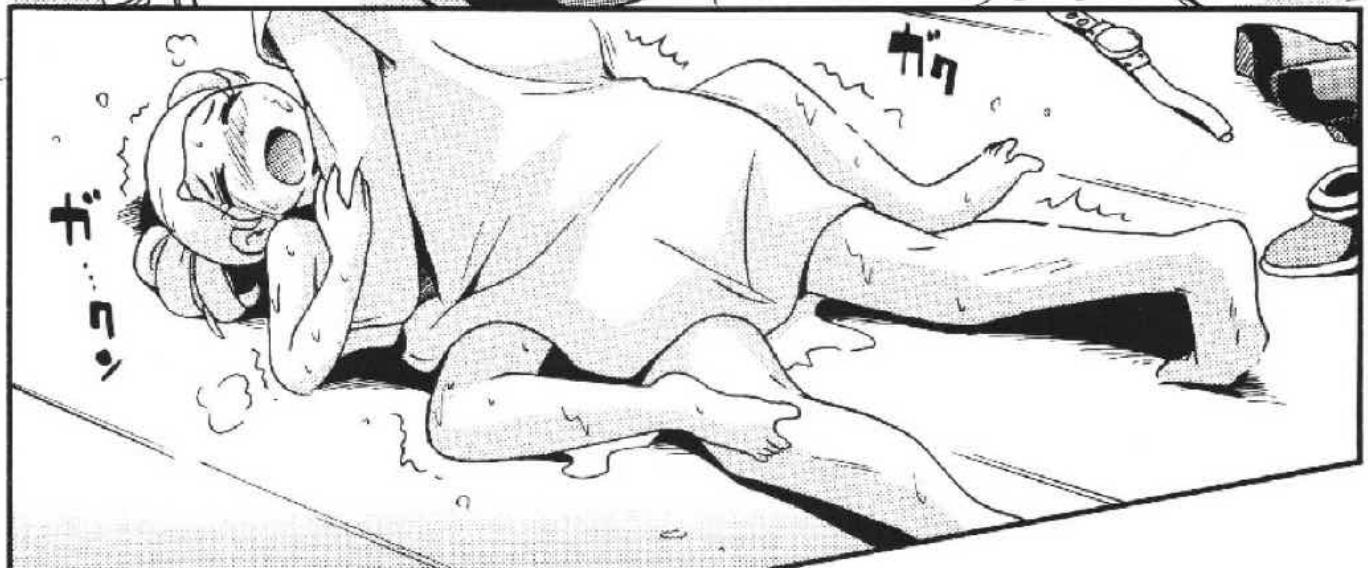


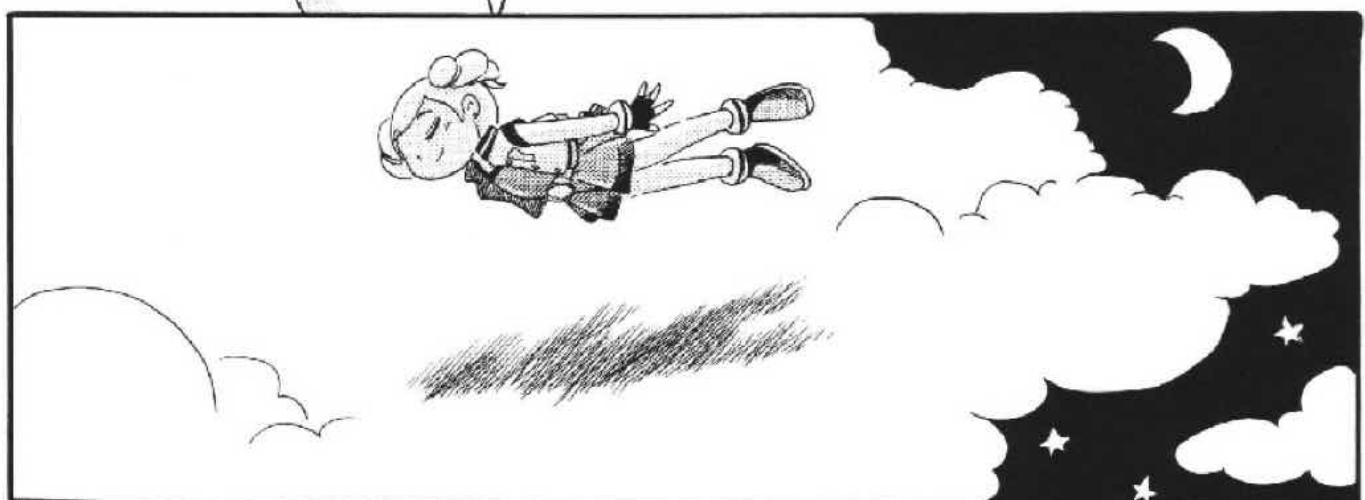












おわり







そ、庄一郎さん用
桜子特製
お…おマ…おマンじゅう…

いただき
まーす♡

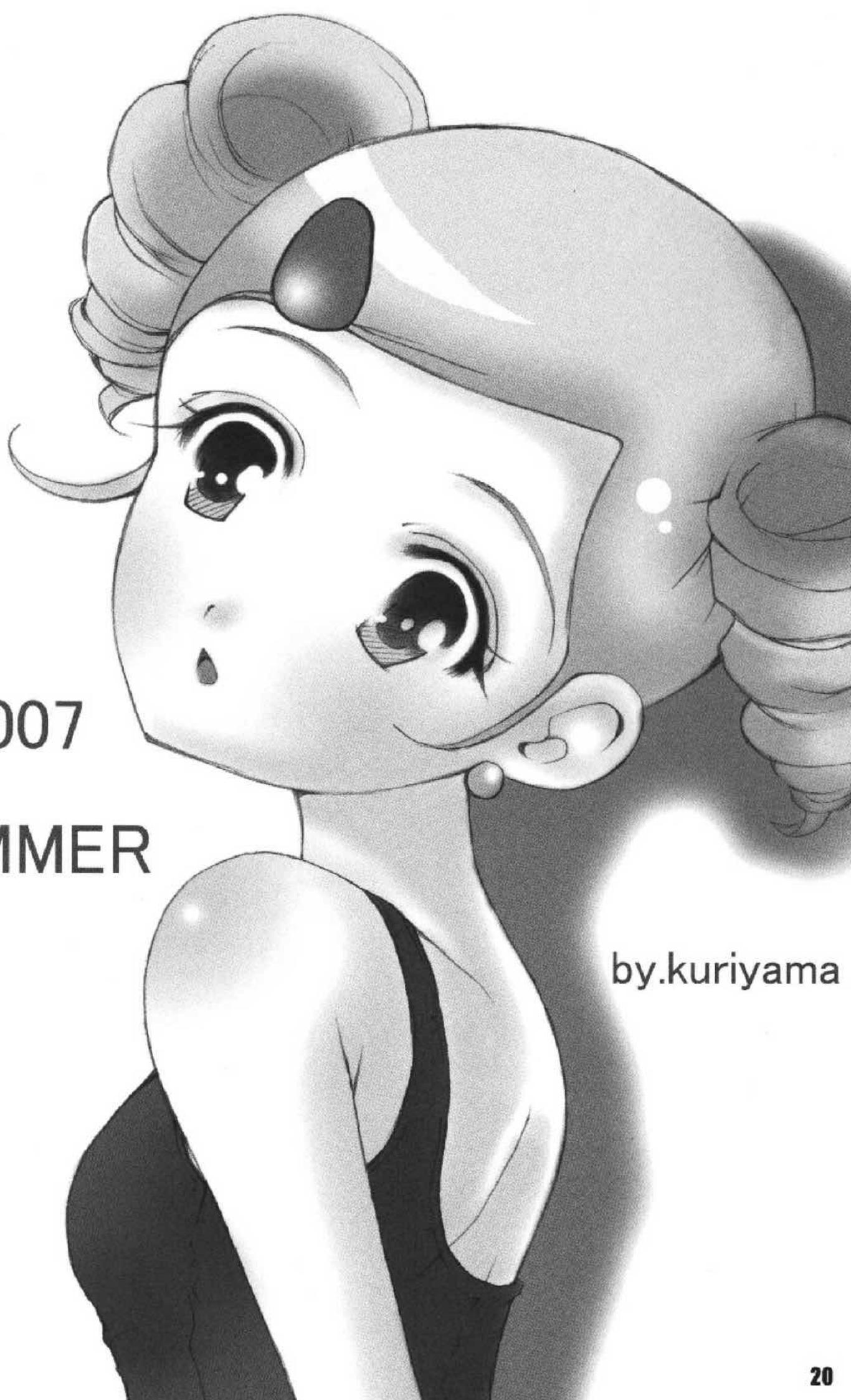
ああああああわあ

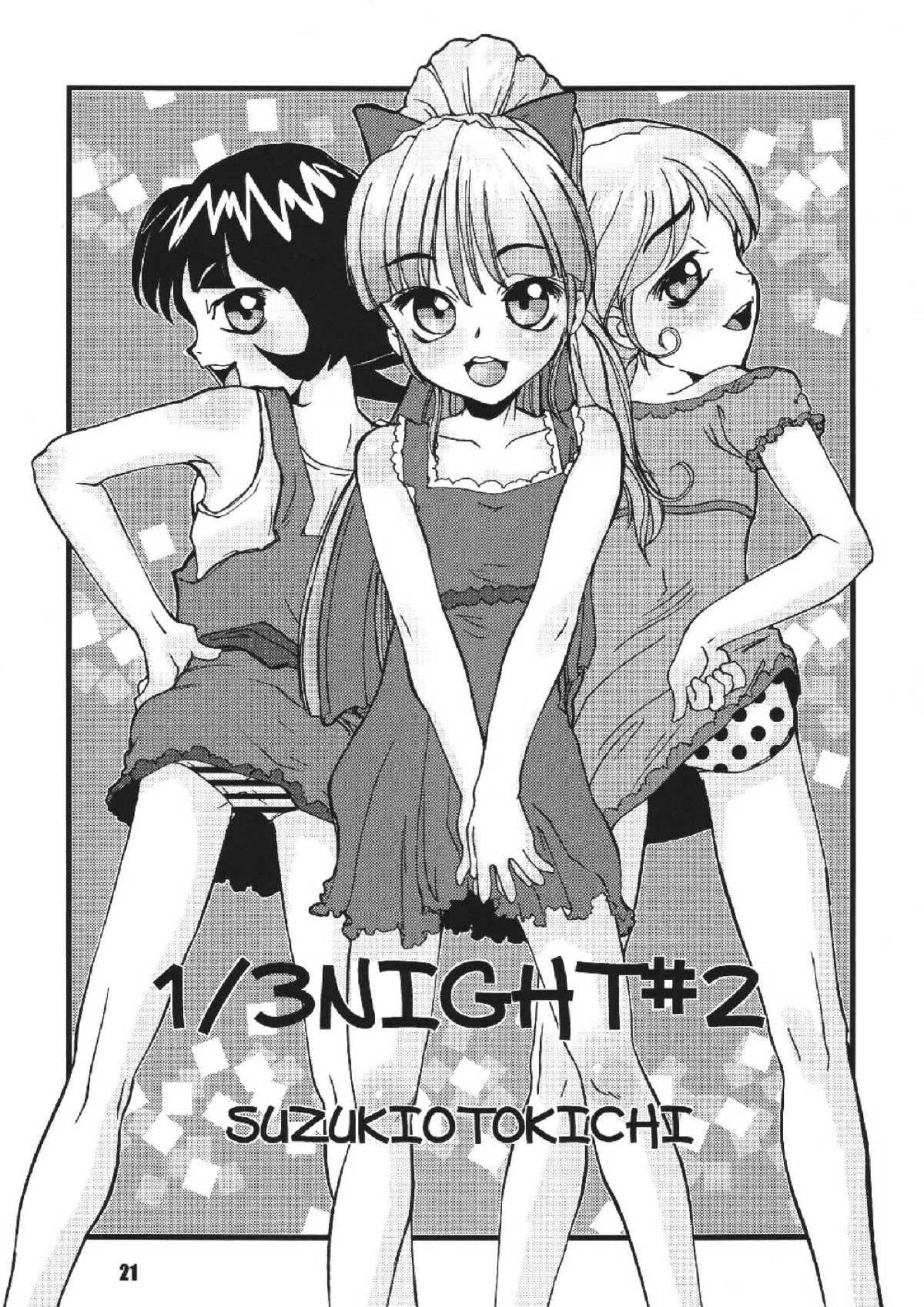
やーん
やーー郎さんさーの♡

●2007

SUMMER

by.kuriyama



A black and white manga-style illustration featuring three young women dressed as maids. They are standing close together, looking towards the camera with various expressions. The girl on the left has dark hair and is wearing a maid's uniform with a large bow in her hair. The girl in the center has light-colored hair and is also wearing a maid's uniform with a bow. The girl on the right has light-colored hair and is wearing a maid's uniform with a bow. They are all wearing aprons over their dresses. The background is filled with small, white, diamond-shaped confetti or pieces of paper.

1/3 NIGHT #2

SUZUKI OTOKICHI

ここはおなじみ
タウンズビル…

一バ博士
博士杯にスベるま
つ！お腹つ！

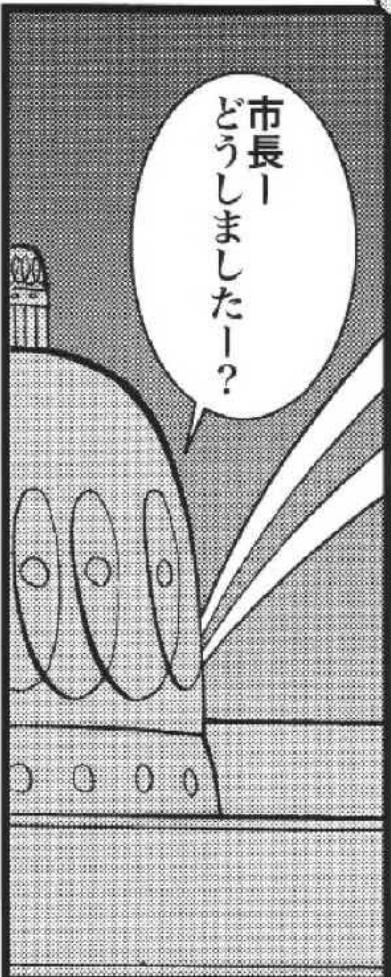
しぐ入オだ
ちゅれれチンチン
つちゅもつと
つちゅぐちゅ

バ手大
ブ伝事
ルいな
スを実
博士
しし
ての
る

バブルス
博士の赤
んであ
げるの
ん！

市長ー
どうしましたー？

バブ出市
タロッカ
ターカサム
ムと
そしてこつちは
市長に呼び
された





自分の突っつ込みなつ！

チ
ン
っ
た
か
ら
し
何
立
つ
か
う
つ
て
？

寝
帰
る
つ
！

カ
バ
ツ
ブ
ウ

脚に擦り付け
ないでえ！

いやああ！

私も…
悪いんですけど
君だけがサム
頼りなんじや

市長

た
ひ
：

す
い
す
い

この口が
そんな事がつを
言うのかつを

この
口か！

そ
うだわ
ミス・ベラムに
相談すれば…

わ
まだ…
だし

そ
んな口は
こうだつ！

そ
んな事を
言うのは…

あ
のスペタに
相談しろだと？

君らを
呼ん
がなの
じやんがな

そ
んな訳で

市長
私、仕事と
プライベートの

あのアマ！
言うに事欠いて
こう言い
おつた！

いつ
はつきり
させたいので

こんな
エピソード
あつたよな
確か：

むち
むちゅ

いつ
まいつの間にか
市長に！
マッスル

それじゃあ
良失礼しますわ
良い週末を

あら
もうこんな
時間



ぞい！

うほう

ボク
ボク

ウェツ

ゲホツ

ゲツ

さあ
そのお口で
するのじや
キレイに

ボク
ボク

ボク
ボク

ふうーつ
小さなお口は
ええのう

ゲホツ



こんな事
する人だつた
なんて…!

市長が…

堪匂背蒼
徳い薔は
らんがし
うて

ほほーっ

プロッサム

その話笑
ついし
て総
せれる事
他で人
はに

事隨満自
分たす為
欲望を
自分と色
々な

今までワシは
市長になつて
からもや

苦恨数
多くの人々
みも買つ
てある

それ…
どうい
う…?

はあつ

んつ

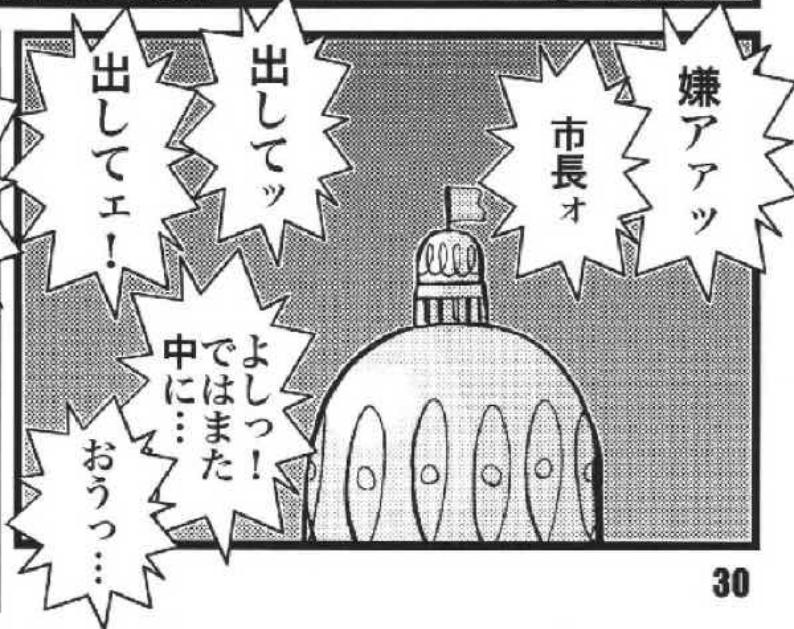
こしか
しき
違
う！

それらと
は



君はすぐ
ワシに感謝
する
プロッサム

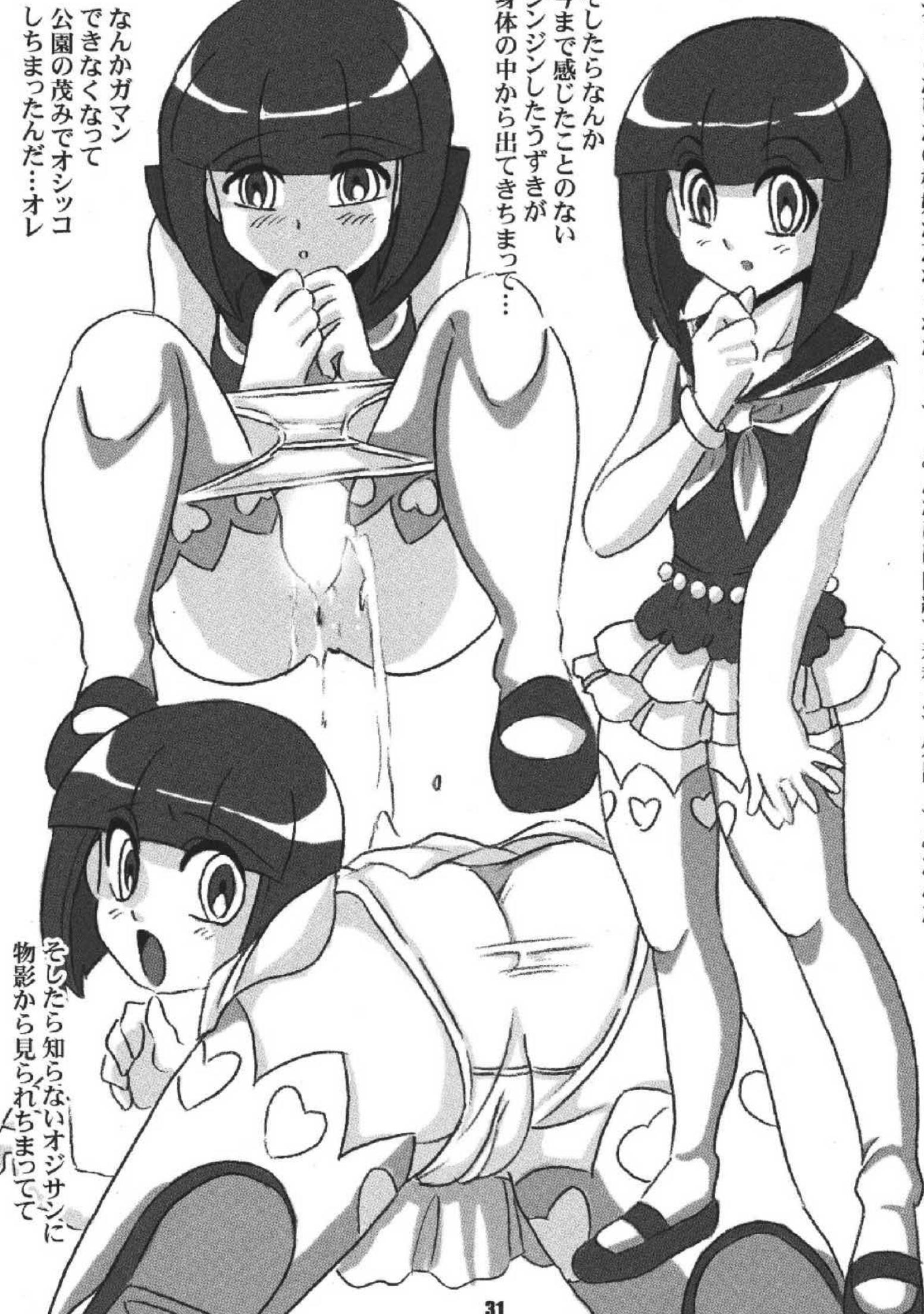
ピワシの特製
ヒクルスで
言つてなつ！



オレこないだの格好が忘れられなくて、みんなには内緒で着替えて外出してみたんだ…

そしたら知らないオジサンに物影から見られちまつて

そしたらなんか今まで感じたことのないジンジンしたうずきが身体の中から出てきちまつて…



なんかガマンできなくなつて公園の茂みでオシツコしちまつたんだ：オレ

そしたら知らないオジサンに物影から見られちまつて

いつもだったら変身して簡単に。のしちまうのに
なんだか今日は身体に力が入らないんだ

いやがるオレの中に無理矢理押し入ってきたんだ

メリツ
メリ
メリツ！

そうしているうちに
おびえたオレの表情を見て
興奮したオジサンは
ジリジリと詰め寄ってきて
ズボンのチャックをおろし
中からおつきなオチンチンを
引っ張り出して來た

イヤッ！
痛い！痛いよおおッ！
とーちゃんかーちゃん
助けてくれえッ！！

そして有無を言わさず

オレに汚いオチンチンをくわえさせ

無理矢理押し広げた

股の間に押しつけ
柔らかなオマンコの感触を楽しんだ後…

一度関係を持ってからと言うもの
オジサンは私の身体を
どんどん求めてくるようになりました

オレ...なんか怖くて
ももこやみやこ達にも
相談できなかつたんだ

おろしたてのパンストの上から射精されたり
スポーツジム用のレオタードの感触を楽しんだり

学校の体育の授業で使った競泳水着の
塩素の匂いなんかにも興奮していたみたいだ

今じやすつかり戦いの後も、スグ自分の部屋に戻ってこの服に着替えてオナニーして、戦いの後の興奮を静めてるんだ
でも今度いつべん、ワザとモンスター達に捕まつて非道いコトされてみようかな
そう考えると、ますます身体の真に火がついて興奮して来ちまうんだ
ああ…もう自分の指じや物足りない…

すっかりオジサンに
自分の知らないところまで
開発されちまつたオレは
ももこやみやこにナイショで
オジサンに渡された
大人のオモチャを使って
言いつけられた通りに
夜も自分の部屋で
オナニー
しまくつてる

オジサンのお友達もくわえて
3Pつてヤツを
今度しようねって事になつてるんだ
大人のオチンチン二本もくわえられるかな?
なんかすっげえ楽しみだ♪

淫ら番外編

ブロッサム
大受難の日々



何歳くらいのかもよく知らない。
胸もそんなに大きくなはない。
でもなんというか、可愛がり甲斐はある。
肌に触れると嫌がつて首を振る。
なんか楽しい。



素肌が綺麗だ。見ていて飽きない。
いや、飽きたな！見てるだけじゃ。
じやあどうするかつてのは、そりやあ
決まつてしまふ。
そんなワケで今日もまた、この子に
色々とイタズラをしてみようと思う。
僕は酷い男なんじやないか、なんて
ちょっとと考え込んで常識人ぶつてみる
のだが、今更だ。非常に今更だ。
今日で5日目。この子を手に入れて
夜も昼もなくイタズラ三昧、やり放題。

おおつ、今日もまた激しく嫌がつてくれるなあ。でもコレがいい。驯れきつていつの間にか：なんて言つたかな、ああそうだ。

『性奴隸』だか『肉便所』だかにならやつば女の子はけがされるべき存在でなければならないんだなあ。

れちや燃えあがれない。

なんて事を考へてる間に、ほおら！

いい案配にイヤイヤをしてくれる。

ところで、最近の僕はオッパイに凝つている。この年齢の女の子が果たして、その桃色の先つちよからトロリとしたミルクをたらしてくれるモンか否か。硬くするところまでは、まあ上手いくようになつたんだけど：



これ、よくは知らないけどなんかムラムラしちゃう薬なんだって。男ならさ、ムラムラくれば白いのが出そうになるじゃない？なら女の子だつて乳首の先から出てきたつてよさそうなモンじやないか。でも彼女、コレ打とうとする、いつも激しく嫌がるワケよ。まあ、そんぐらいで止める僕じやないんだけど。ていうか、嫌がられると燃えるんだってば。

でもさ、いくらお注射してあげてもね、この子つてはなんにも出してくれないワケよ。体はビクビク震えてるのに。乳首もギンギンに起つてるのに。どういうワケか出るのはいつも……あ、挙もまたやつちやつた。わかるかな…そう、お漏らししちゃうんだ。お仕置きに、この恥ずかしい格好、真に撮っちゃうよ。これで10枚目。写

今更なんだ。これが初めてじゃあるまいに。

必死になつて暴れるトコがいい。無駄なんだけど。

内股うちまた！

こんな男の前で、股を開いて見せるなんて、女に生まれてきた価値がないじゃない……ってトコかな。
彼女の心の最後の砦が、多分そういう無駄な抵抗をさせてるんじやないかな。



お仕置きその2。
お漏らし娘にお灸をすえる。
いや、するといふか捻り込む。彼女の体もちょうどいい具合に出来上がつてゐる感じ。

ホントはいきなり、僕のナマの肉の棒でズコズコいきたいトコだけど、それじやあこの子の泣き叫ぶトコをさ、ジックリと拝見出来ないじやない？
そんで、ジワジワと気持ちを高ぶらせてさ……



それにして、僕も相当お漏らし加減。ああ出したい、白いのを。ああ飲ませたい、その唇からこぼれ落ちるほど。
あぶくを吐きながら泣いて見せてよ。キミはそのために生まれきたんだから。

「ひイあああアア！ い、いやアああ…あはアああアアん！」

……ん、いい声。すっこくイイ声だよ。

「あっ、あアっ！ いアああっ！ キヤハあアアアン！」

……その「きやはアんっ！」て、いいね。いつ聞いてもいい声だ。

「だつ、ダメ…ダメ、ダメエ！ も、もお…もおオオオ！」

…ゴメンね、ダメーって言われても、ここまで
深々と刺さってるもんだから、今更抜くに抜けな
くて…クツッ！

「も、もお許してエえええ！」



ボロボロになるまで犯すに犯され、それでも折れる事無く抗つてみせてくれるこの少女。
なめ回されて汚れまくつて、穴という穴を犯されまくつて……
まさか今までの人生が、こんな目に遭うための下準備だつたとは、思つても見なかつたに違ひない。
僕のためだけに生まれてきたワケだから。

僕が吸い付くための唇。
僕が摘むための桃色乳首。
バツクでやると、股間にサラリと触れて、僕を奮い立たせてくれる長い髪……彼女は僕専用。



じつと手を見る。
絡みつくのは、僕の
白濁の体液。
イヤな臭いでしょ。
不潔で怖気が走るでしょ。
吐き気がするでしょ。
そう、もつともっと嫌がるといい。
君の嫌がる事をするのが僕の
生き甲斐なんだ。
あと何年、この生き甲斐を感じて
いけるか……たのしみだ。

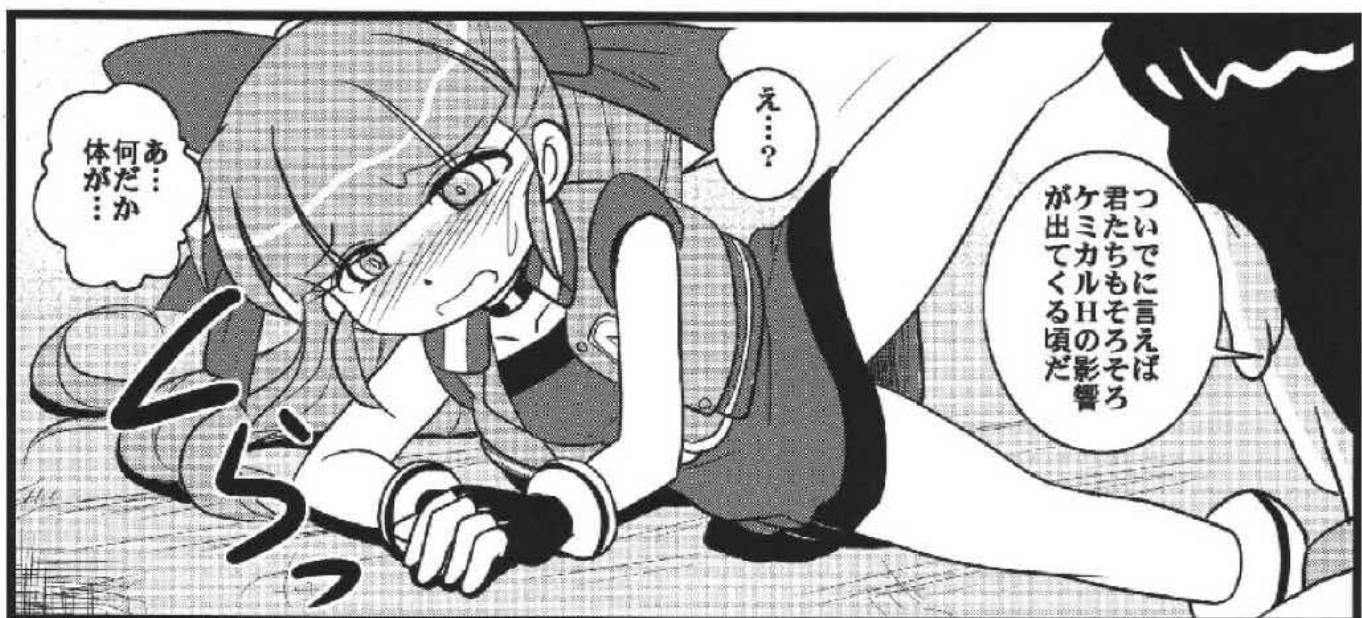
そんな顔しても無駄。
ここからはさ、一步も出して
あげない。君の体がイジメ
テって言つてんだ。

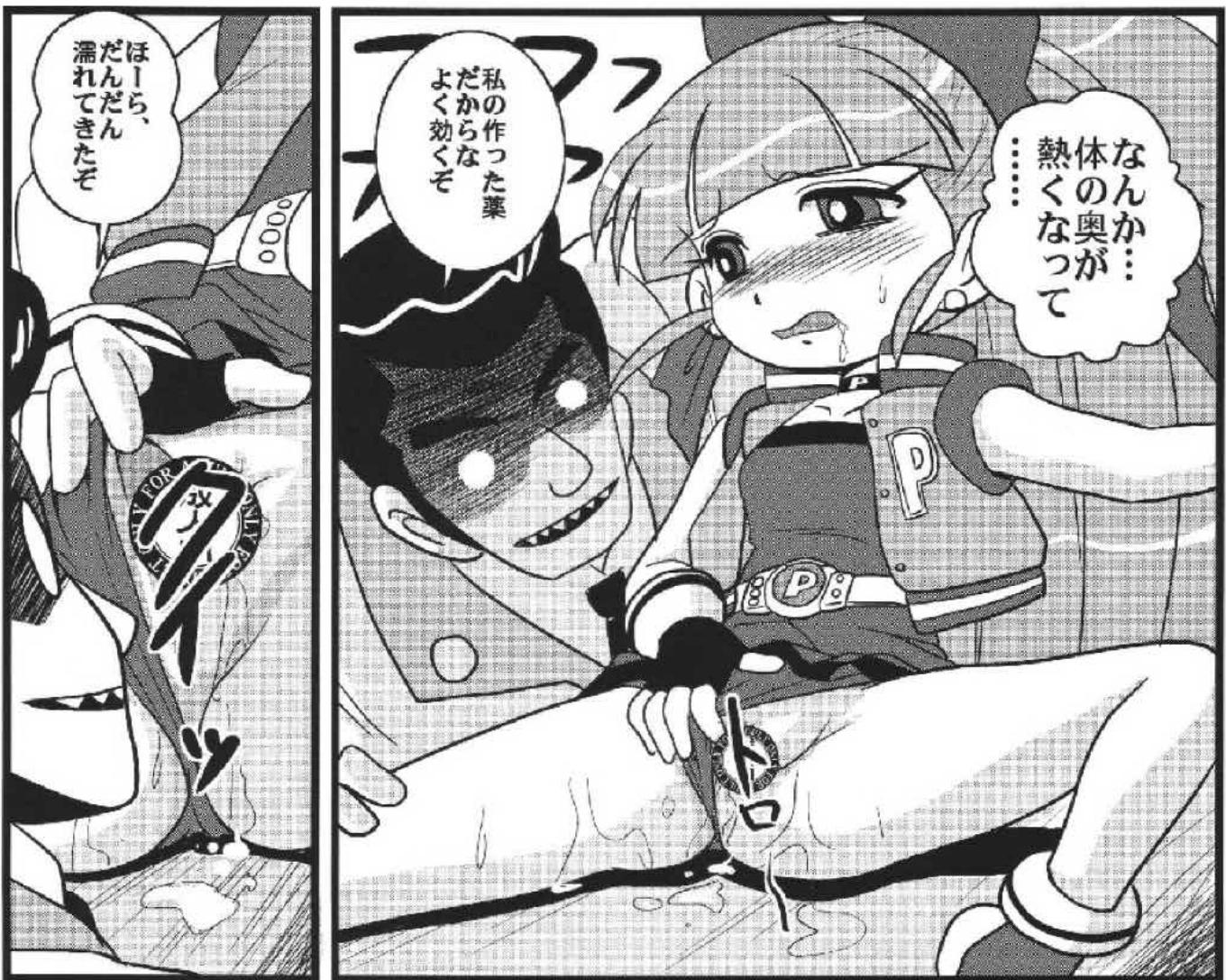
だつて君が悪いんだ。
その瞳が悪いんだ。とつて
も長いボニー・テールが悪い
んだ。
死ぬまで、死んじやう程に
犯させてもらうから、今後
ともヨロシク。















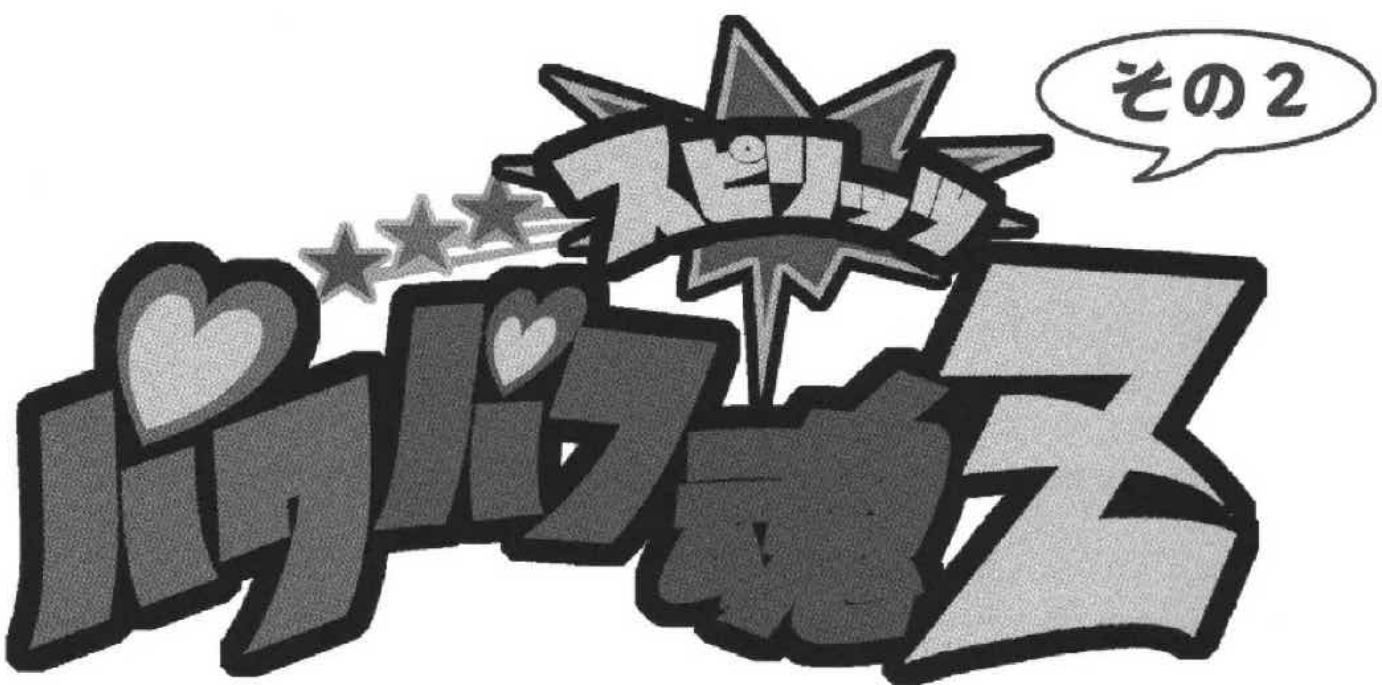








ToWeR.



■発行日 2007年8月
■制作 男魂
■発行 RPGカンパニー2
■誌名 パワーパフ魂Z その2
■URL <http://www.rpgcompany.com/>
■E-MAIL dungeon@rpgcompany.com
■印刷所:BROS

禁無断転載!
WEBサイトへの無断アップロードも禁止
発見した場合は、法律により、罰します





ADULT ONLY